

香川県次期総合計画 骨子案等の概要

1

次期総合計画の性格と役割

- ◆ 令和3年度からの新たな香川づくりの指針
- ◆ 本県の進むべき基本的方向と
それを実現するための方策を明らかにした
県政運営の基本指針
- ◆ 計画期間：令和3年度～令和7年度

2

策定に当たっての考え方

せとうち田園都市香川創造プラン

(平成23～27年度)

「せとうち田園都市の創造」

- 元気の出る香川
- 安心できる香川
- 夢と希望あふれる香川づくり

新・せとうち田園都市創造計画

(平成28～令和2年度)

「せとうち田園都市の新たな創造」

- 成長する香川
- 信頼・安心の香川
- 笑顔で暮らせる香川づくり

次期総合計画

(令和3～7年度)

- これまでの取組みの方向性を引き継ぎながら、社会経済情勢の変化や県民意識・ニーズ等を踏まえて策定

3

基本目標

「せとうち田園都市の確かな創造」

活気あふれる街と美しい自然が隣接し、生涯を通じて安心して生活できる環境の中で、誰もが生きがいを見いだし、みずからの能力を存分に発揮できる、また、その魅力に引かれて集い、交わる人々が、みんな新しい流れをつくり、人口の社会増がもたらされる、瀬戸内(せとうち)香川の生活圈域の確かな創造

4

現状分析

1 現計画の評価

(1) 成長、信頼・安心、笑顔の9つの指標の達成状況

1. 成長の指標	基準値 (H27年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R2年度)
■人口の社会増減	481人 (H27年)	▲539 (R元年)	▲180人 (R2年)
■県外観光客数	9,203千人 (H27年)	9,687千人 (R元年)	9,800千人 (R2年)
■定期航空路線利用者数	178万人	199万人	214万人

5

現状分析

1 現計画の評価

(1) 成長、信頼・安心、笑顔の9つの指標の達成状況

2. 信頼・安心の指標	基準値 (H27年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R2年度)
■保育所等利用待機児童数	年度当初324人 (H28年度) 年度途中407人 (H27年度)	年度当初64人 (R2年度) 年度途中313人 (R元年度)	年度当初0人(※) (R3年度) 年度途中0人 (R2年度)
■地震・津波対策海岸堤防 等の整備率 (第I期計画:H27~R6年度)	1.6%	51.8%	66%
■交通事故死者数	52人 (H27年)	47人 (R元年)	39人 (R2年)

(※)目標値は、H30年度に待機児童数ゼロを達成し、R2年度までゼロを維持するもの

6

現状分析

1 現計画の評価

(1) 成長、信頼・安心、笑顔の9つの指標の達成状況

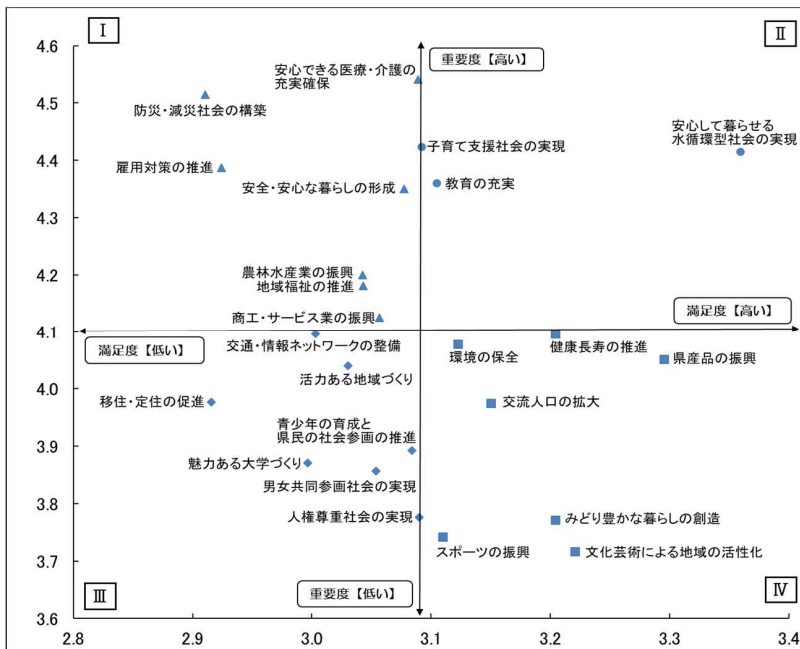
3. 笑顔の指標	基準値 (H27年度)	実績値 (R元年度)	目標値 (R2年度)
■ 県内大学卒業生の県内就職率	42.8%	40.5%	52.0%
■ 児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒の数	小学生3.0人 中学生29.9人	5.6人 32.2人	2.4人 26.8人
■ 女性活躍推進の自主宣言「かがわ女性キラサポ宣言」登録企業数〔累計〕	— (H23～H27年度)	141社 (H28～R元年度)	150社 (H28～R2年度)

7

現状分析

1 現計画の評価

(2) 県政世論調査結果(令和2年5～6月)から見た施策(分野別)の評価



■ 重要度と満足度について、それぞれの平均点を境界とする4つのグループに分類すると、「防災・減災社会の構築」、「安心できる医療・介護の充実確保」など、県民の暮らしに身近な分野の重要度が高くなっており、その中では、満足度が平均よりも低い「I」に分類されるものが増えている。

8

現状分析

2 社会経済の状況

○人口、経済・雇用、産業

- ・ 本県の人口は自然減と社会減により、減少が進行。
特に、若者の転出超過が大きい。
- ・ 経済成長率は平成29年度まで4年連続でプラス成長となったが、足元では、新型コロナウイルス感染症の影響が顕在化。
- ・ 有効求人倍率は全国よりも高い水準で推移し、平成22年度から30年度まで上昇しており、人手不足が顕在化。
- ・ 在留外国人数、外国人労働者数が増加。本県の総人口に占める在留外国人の割合は、約1.5%。
- ・ 経済のグローバル化が進展する中で、海外展開企業数が増加。
- ・ 農林水産業の就業者数は減少傾向。耕作放棄地が増加。
- ・ 県のブランド製品に対する認知度は上昇し、県が関与した県産品の販売実績額は国内・国外ともに増加。
- ・ 県外観光客入込数や延宿泊者数は増加傾向。

9

現状分析

2 社会経済の状況

○健康・福祉、防災・減災、交通安全・治安

- ・ 三大生活習慣病（がん、心疾患、脳血管疾患）及び糖尿病の10万人当たりの死亡者数は、依然として全国水準より高い割合で推移。
- ・ 医師、看護師数の地域的な偏在がみられるほか、要介護等認定者数は、増加傾向。
- ・ 住宅の耐震化や家具類転倒防止対策、避難経路確認等、家庭での防災・減災対策は十分とはいえない。
- ・ 人口10万人当たり交通事故死者数は、依然として全国平均を大きく上回る状況。
- ・ 刑法犯認知件数や特殊詐欺発生件数は減少傾向にある一方で、ストーカー事案や配偶者からの暴力事案等の相談等件数、児童虐待対応件数は高水準で推移。

10

現状分析

2 社会経済の状況

○環境、教育

- ・温室効果ガス排出量は、省エネの取組みや再生可能エネルギーの導入拡大等により減少傾向。
- ・犬・猫の殺処分数は、近年は減少傾向にあるが、犬の殺処分数は依然として全国ワースト。
- ・令和元年度の全国学力・学習状況調査では、小学校の国語、算数は全国平均を上回るが、中学校の英語は下回る結果。
- ・令和元年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点は、小学校は全国平均を下回るが、中学校は上回る結果。
- ・児童生徒による暴力行為の発生件数は、10年前の半数以下まで減少したが、いじめの認知件数は、積極的な認知を行うために調査方法を一部見直したことにより、近年は急増。

11

現状分析

2 社会経済の状況

○新型コロナウイルス感染症による本県への影響

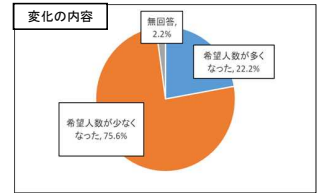
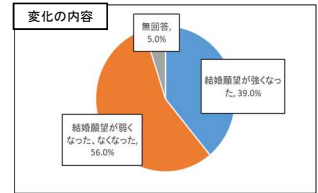
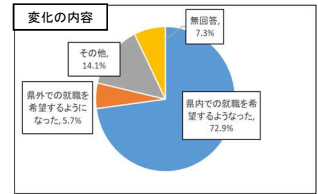
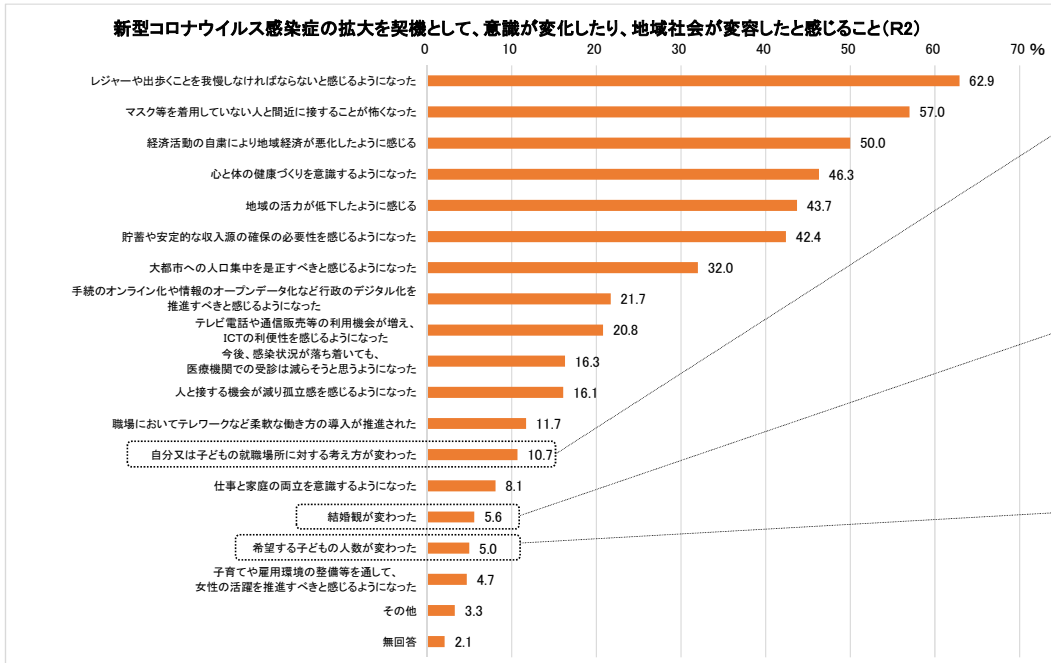
- ・県内では令和2年3月に初めての感染者が確認されて以降、断続的に感染者が発生していたが、12月頃から増加傾向にあり、令和3年1月27日現在で累計618人。
- ・感染拡大に伴い、県民生活や企業活動など様々な分野に影響が生じており、景況感については、景気動向指数（一致指数）は令和2年3月から8月まで6か月連続で下降。
- ・県の制度融資の保証承諾実績から、卸売業・小売業、建設業、製造業、宿泊業・飲食サービス業などが特に大きな影響を受けていると考えられる。
- ・有効求人倍率は大きく下降し、感染拡大以前よりも低い水準で推移しており、求人が求職を上回っているものの、今後の雇用への影響に注意が必要。
- ・公共交通の利用状況は、令和2年4月、5月を底に回復傾向にあるものの、引き続き厳しい状況。
- ・好調に推移してきた観光業については、インバウンドを中心に観光客が激減。
- ・都市圏居住者の地方移住への関心が高まったほか、テレワークやオンライン授業の導入など、デジタル化が進展。

12

現状分析

3 県民意識・ニーズの把握

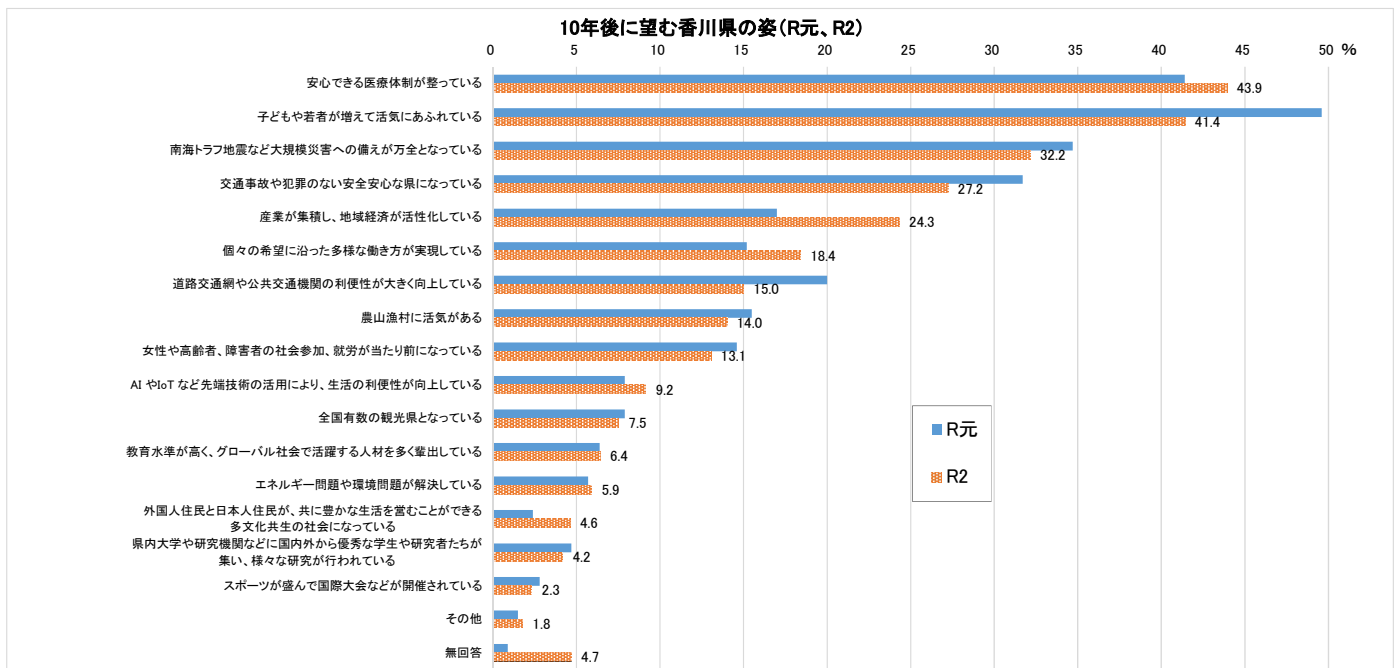
県民意識調査(令和元年11月、令和2年9月)の結果



現状分析

3 県民意識・ニーズの把握

県民意識調査(令和元年11月、令和2年9月)の結果



課題整理

1 新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の維持・回復、新しい生活様式の下での成長

◎医療提供体制や検査体制の整備、地域経済の維持・回復、新しい生活様式への順応、デジタル化

2 人口減少問題の克服・地域活力の向上

◎人口の社会増への転換、自然減の緩和、地域経済の活性化、女性の活躍

3 県民の暮らしを守る環境づくり

◎着実な防災・減災対策、健康・医療・福祉施策の充実、交通事故・犯罪の抑止

4 社会情勢の急激な変化への対応

◎先端技術の利活用、多様な労働人材の確保、地域資源を活かしたブランド化

5 持続可能な地域づくり

◎地域を担う人材の育成、自然との共生、スポーツや文化を通じた地域活性化

15

基本方針

(1) 安全と安心を築く香川

災害や感染症など、命や健康を脅かす危機が頻発する中で、これらの危機への備えを万全なものとし、子どもからお年寄りまですべての人が、安心して健やかな日々を過ごすことができる香川をつくる。

(2) 新しい流れをつくる香川

新型コロナウイルスによる県内経済への影響から回復に転じさせるとともに、新たな発想を持った人材と新たな技術の積極的な活用により、本県ならではの魅力や強みをさらに磨き上げ、産業、観光、しごと、暮らしのあらゆる面で選ばれる、活力に満ちあふれた香川をつくる。

(3) 誰もが輝く香川

すべての人が夢と希望を持って、家庭、職場、学校、地域のそれぞれが置かれた環境で、ライフスタイルやライフステージに応じて、その能力を発揮し、お互いを認め合いながら、笑顔でいきいきと暮らせる香川をつくる。

16

重点施策

赤字:新規 青字:見直し

	重点施策	取組みの方向
1 安全と安心を築く香川	1 災害に強い香川をつくる	1 南海トラフ地震・津波対策の推進 2 大規模な風水害に強いまちづくりの推進 3 危機管理体制の強化 4 防災意識の向上
	2 「子育て県かがわ」の実現をめざす	1 結婚・妊娠期からの支援 2 子ども・子育て支援の充実 3 子どもや子育て家庭にやさしい環境の整備 4 児童虐待防止対策・社会的養育の充実
	3 健康長寿の香川をつくる	1 健康づくりの推進 2 介護予防の推進 3 高齢者の社会参加の促進・生きがいづくり
	4 安心な医療・介護体制をつくる	1 新型コロナウイルス等の感染症対策の強化 2 医療体制の充実・強化 3 医療機関の機能分化と連携、医療と介護の連携の推進 4 医師の確保対策 5 看護職員の確保対策 6 持続可能な介護サービス基盤の整備 7 介護人材の確保対策
	5 高齢者や障害者が地域で安心して暮らせる社会をつくる	1 地域で支える体制の整備 2 認知症施策の推進 3 障害者の地域生活支援と就労・社会参加の促進 4 福祉のまちづくり
	6 安心につながる社会資本を整える	1 幹線道路等の整備 2 公共土木施設の老朽化対策の推進 3 集約型都市構造の実現 4 地域交通ネットワークの充実・強化 5 水の安定供給の確保
	7 交通事故・犯罪のない安全安心な香川をつくる	1 交通死亡事故の抑止 2 人身の安全を確保するための取組みの推進 3 犯罪防止に向けた取組みの推進 4 社会を脅かす犯罪への的確な対処

重点施策

赤字:新規 青字:見直し

	重点施策	取組みの方向
2 新しい流れをつくる香川	8 定住人口を拡大する	1 かがわの魅力発信
		2 移住促進に向けた支援体制の充実
		3 定住の支援
		4 県内就職の促進
		5 若者に魅力のある働く場の創出
	9 戦略的な産業振興を図る	1 成長産業の育成・集積
		2 創業や新事業展開の促進
		3 企業の競争力強化
		4 企業の海外展開の促進
		5 産業人材の育成
		6 中小企業の経営支援
		7 企業立地の促進と産業基盤の強化
	10 雇用対策を推進する	1 若者の雇用対策の充実
		2 女性・高齢者・障害者等の就労支援
		3 外国人材の受入れ支援・共生推進
4 職業能力の開発		
5 県内企業の人材確保		
6 働き方改革の推進		
11 交流人口を回復・拡大する	1 観光客の誘致・滞在の促進	
	2 観光客受入環境の整備	
	3 戦略的な観光プロモーション	
	4 外国人誘客対策の充実・強化	
	5 MICE、クルーズ客船誘致の推進	
	6 新県立体育館を活用したにぎわいづくり	
12 農林水産業の持続的発展を図る	1 農業の担い手の確保・育成	
	2 農産物の安定供給	
	3 農産物の需要拡大	
	4 生産性を高める農業の基盤整備	
	5 森林整備と森林資源循環利用の推進	
	6 水産物の安定供給と需要拡大	
	7 漁業の担い手の確保・育成と生産性を高める基盤整備	
13 県産品のブランド力の強化・販路拡大を図る	1 県産品のブランド力の強化と認知度向上の推進	
	2 国内外における販路開拓・拡大の推進	
	3 アンテナショップの充実・強化	
14 デジタル社会を推進する	1 デジタル人材の育成	
	2 デジタル技術を活用した地域課題の解決と産業の活性化	
	3 行政のデジタル化の推進	
15 四国における拠点性を確立する	1 民営化を活かした高松空港の利便性向上	
	2 四国の新幹線の実現	
	3 重要港湾の整備	
	4 幹線道路等の整備	
	5 都市機能の充実	
	6 企業立地の促進と産業基盤の強化	

重点施策

赤字:新規 青字:見直し

	重点施策	取組みの方向
3 誰もが輝く香川	16 豊かな人間性と個性あふれる子どもたちを育てる	1 学力の育成
		2 問題行動等やネット・ゲーム依存の防止
		3 教員の資質・能力の向上
		4 グローバルな視点を持ち郷土を支える人材の育成
		5 多様性を認め合い共に育つ子どもの育成
		6 家庭や地域との連携による教育力の向上
		7 私学における教育内容の充実
	17 女性が輝く香川にする	1 あらゆる分野における女性の活躍推進
		2 働く女性の活躍の推進
	18 大学と地域との連携を深める	1 県内大学等の充実強化
		2 県内大学等との連携強化
	19 人と自然が共生する香川をつくる	1 持続可能で環境と調和した地域づくりの推進
		2 里海づくりの推進
		3 地球温暖化対策の推進
		4 持続可能な循環型社会の形成
		5 生物多様性の保全と有害鳥獣対策の推進
		6 動物愛護管理施策の推進
	20 活力あふれる農山漁村をつくる	1 多面的機能の維持・発揮
		2 農山漁村の活性化
		3 県民総参加のみどりづくり
		4 地域課題の解決に向けた関係人口の創出・拡大
		5 地域拠点とネットワークづくり
21 「アート県かがわ」の魅力を高める	1 文化芸術を担う人材の育成	
	2 文化芸術をはぐくむ環境の整備	
	3 文化芸術による地域づくり	
22 スポーツ県をめざす	1 ライフステージに応じたスポーツ活動の推進	
	2 トップアスリートの育成	
	3 障害者スポーツの振興	
	4 地域密着型スポーツチームの振興	
	5 スポーツによる地域の活性化	
	6 新県立体育館の整備	

推進の視点

効果的・効率的に行政運営を行うため、次の視点を持ちながら実効性のある取組みを推進

① 県民等との協働	② 広域連携	③ デジタル化の推進
県民、地域団体、NPO、企業、大学、金融機関など多様な主体との協働の仕組みづくりに努める	限られた財源で住民サービスを持続的かつ安定的に提供するため、各市町や四国4県など自治体間の広域連携を推進	デジタル人材の育成や利活用の促進、行政サービスのデジタル化・オンライン化など、あらゆる業態のデジタルトランスフォーメーションを促進
④ 行財政改革の推進	⑤ SDGsの推進	⑥ 関係人口の創出・拡大
社会情勢の変化に「柔軟」かつ「迅速」に対応しながら、これまでの「量」の改革を維持しつつ、「質」をより一層向上させる改革を推進	経済、社会及び環境の三側面を調和させ、持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現をめざす	さまざまな分野において、特定の地域に関心を持つ地域外の人材と地域の多様な関係の構築を図る

施策概念図

基本目標

〈喫緊の課題〉	
新型コロナウイルス感染症の拡大防止と社会経済活動の維持・回復 → 新しい生活様式の下での成長	
防災・減災対策	人口減少問題の克服・地域活力の向上

せとうち田園都市の確かな創造

基本方針(案)	重点施策(案)
1 安全と安心を築く香川	① 災害に強い香川をつくる
	② 「子育て県かがわ」の実現をめざす
	③ 健康長寿の香川をつくる
	④ 安心な医療・介護体制をつくる
	⑤ 高齢者や障害者が地域で安心して暮らせる社会をつくる
	⑥ 安心につながる社会資本を整える
	⑦ 交通事故・犯罪のない安全安心な香川をつくる
2 新しい流れをつくる香川	⑧ 定住人口を拡大する
	⑨ 戦略的な産業振興を図る
	⑩ 雇用対策を推進する
	⑪ 交流人口を回復・拡大する
	⑫ 農林水産業の持続的発展を図る
	⑬ 県産品のブランド力の強化・販路拡大を図る
	⑭ デジタル社会を推進する
	⑮ 四国における拠点性を確立する
3 誰もが輝く香川	⑯ 豊かな人間性と個性あふれる子どもたちを育てる
	⑰ 女性が輝く香川にする
	⑱ 大学と地域との連携を深める
	⑲ 人と自然が共生する香川をつくる
	⑳ 活力あふれる農山漁村をつくる
	㉑ 「アート県かがわ」の魅力を高める
	㉒ スポーツ県をめざす

推進の視点

- ①県民等との協働、②広域連携、③デジタル化の推進、
④行財政改革の推進、⑤SDGsの推進、⑥関係人口の創出・拡大